

多面的機能の増進を図る活動【広報活動】 [市町村名： 関 市 ]

活動組織名	千疋環境保全委員会			
○付け	活動内容（※該当する項目すべてに○をつけてください）			
	農地維持活動			
	資源向上活動（共同）			
○	農村環境 向上活動	啓発・普及（地域住民との交流活動、学校教育等との連携 など）		
○		生態系保全（生物の生息状況の把握、外来種の駆除 など）		
		水質保全（水質モニタリングの実施・記録管理 など）		
		景観形成・生活環境保全（景観作物の施設への植栽、定期的な清掃 など）		
		水田貯留機能増進・地下水かん養（水田の貯留機能向上活動 など）		
	資源循環（地域資源の活用・資源循環のための活動）			
	多面的機能の増進を図る活動			
	資源向上活動（長寿命化）			
活動(行事)名	水田魚道の点検とモニタリング調査結果検討会			
実施場所	千疋地内に設置した水田魚道及び			
実施日	5月19日魚道の点検、積み石、11月27日水田魚道観察結果検討会			
参加者		名	その他個人(農業者)	9名
	市、県関係者	9名	その他個人(非農業者)	6名

〔活動の内容〕

平成29年度に水田魚道を設置したが、より魚類の生息環境を向上させるために、魚道の登り口に石をいれた。また、魚道の連続性推進部会が開催され、観察結果の発表や検討を行った。オイカワやアブラハヤが魚道を上がったことやナマズの受精卵や稚魚が水田で確認されたことが報告された。

〔参加者の感想など〕

近代的な土地改良事業では川と田んぼのつながりが切れてしまったが、水田魚道という手法でこのつながりを復活できる可能性は高い。長い年月がかかるかもしれないが、不断的努力によって魚が田んぼに戻ってくることを期待したい。

